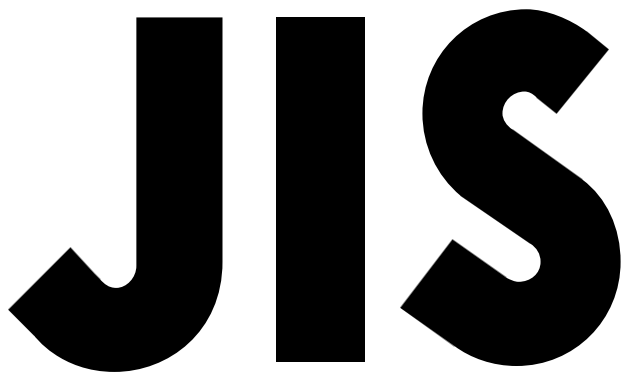




摩擦に対する染色堅ろう度試験方法

JIS L 0849 : 2024

(SWTF/JSA)

令和 6 年 3 月 21 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	松 橋 隆 治	東京大学
(委員)	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	江 坂 行 弘	一般社団法人日本自動車工業会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	倉 片 憲 治	早稲田大学
	越 川 哲 哉	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清 水 孝太郎	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	清 家 剛	東京大学
	高 辻 利 之	株式会社 AIST Solutions
	田 淵 一 浩	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	千 葉 光 一	関西学院大学
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	久 田 真	東北大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	神戸大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
	山 田 陽 滋	豊田工業高等専門学校

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 42.3.1 改正：令和 6.3.21

官 報 掲 載 日：令和 6.3.21

原 案 作 成 者：公益財団法人スガウェザリング技術振興財団

(〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-4-14 TEL 03-3354-5248)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 原理	2
5 試験場所	2
6 試験の種類	2
7 装置及び材料	2
7.1 摩擦試験機	2
7.2 摩擦用白綿布	3
7.3 汚染用グレースケール	3
7.4 耐水研磨紙	3
7.5 水	4
7.6 両面粘着テープ	4
7.7 測色計	4
8 試験片の調製	4
9 試験方法	4
9.1 摩擦試験機Ⅰ形（クロックメーター）法	4
9.2 摩擦試験機Ⅱ形（学振形）法	4
10 判定	5
11 試験報告書	5
附属書 A（参考）試験機の例	6
附属書 JA（参考）JIS と対応国際規格との対比表	8
解 説	12

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、公益財団法人スガウェザリング技術振興財団（SWTF）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS L 0849:2013** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

摩擦に対する染色堅ろう度試験方法

Test methods for colour fastness to rubbing

序文

この規格は、2016 年に第 6 版として発行された ISO 105-X12 及び 2020 年に第 1 版として発行された ISO 105-X19 を基とし、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、附属書 JA に示す。

1 適用範囲

この規格は、染色した繊維製品の摩擦に対する染色堅ろう度試験方法について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 105-X12:2016, Textiles—Tests for colour fastness—Part X12: Colour fastness to rubbing

ISO 105-X19:2020, Textiles—Tests for colour fastness—Part X19: Colour fastness to rubbing (Gakushin test method) (全体評価：MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1 に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS K 0557 用水・排水の試験に用いる水

JIS L 0105 繊維製品の物理試験方法通則

注記 対応国際規格における引用規格：ISO 139, Textiles—Standard atmospheres for conditioning and testing

JIS L 0801 染色堅ろう度試験方法通則

注記 対応国際規格における引用規格：ISO 105-A01, Textiles—Tests for colour fastness—Part A01: General principles of testing

JIS L 0803 染色堅ろう度試験用添付白布

注記 対応国際規格における引用規格：ISO 105-F09, Textiles—Tests for colour fastness—Part F09: Specification for cotton rubbing cloth

JIS L 0805 汚染用グレースケール

注記 対応国際規格における引用規格：ISO 105-A03, Textiles—Tests for colour fastness—Part A03: Grey scale for assessing staining